



学校だより

令和3年1月29日
2月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

「ならぬことはならぬものです」

副校長 飯島 慶裕

間もなく立春です。1985年から昨年までの36年間、2月4日が立春でしたが、今年の立春の瞬間は、23時59分という1分の差で2月3日となりました。2月3日になるのは、1897年以来124年ぶりだそうです。暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒さの厳しい日が続きます。

ところで、江戸時代の会津藩では、6歳から9歳の武士の子供たちは、「什（じゅう）」という集まりをつくり、会津藩の武士としての心構えを学んだり、一緒に遊んだりしていました。その「什」で教えられていた心構えとして「什の掟（おきて）」というものがあり、7つの掟を皆で唱えて必ず守るようにしていたそうです。それは次のようなものです。

什の掟

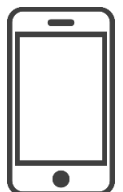
- 一 年長者の言うことに背いてはなりません
 - 二 年長者にはお辞儀をしなければなりません
 - 三 嘘言（うそ）を言うことはなりません
 - 四 卑怯な振舞をしてはなりません
 - 五 弱い者をいじめてはなりません
 - 六 戸外で物を食べてはなりません
 - 七 戸外で婦人と言葉を交えてはなりません
- ならぬことはならぬものです

あいづっ子宣言

- 一 人をいたわります
 - 二 ありがとう ごめんなさいを言います
 - 三 がまんをします
 - 四 卑怯なふるまいをしません
 - 五 会津を誇り年上を敬います
 - 六 夢に向かってがんばります
- やっではならぬ やらねばならぬ
ならぬことはならぬものです

最後の「ならぬことはならぬものです」という言葉は、とても重きをなしています。友達に暴力をふるった、うそをついた、いじめをしたなど、いけないことをしてしまった子に聞くと、「〇〇さんもしているのに、何でわたしだけいけないの。」「だって向こうがいけないんだもの。」など、言い訳をすることがあります。「什の掟」の言葉は、理屈抜きで悪いことは悪いと伝える力があります。子供のときに、「ダメなものはダメ。」「やらなければならないことは、しっかりやる。」と善悪のけじめを身に付けさせる必要性は、今も昔も変わりません。会津若松市では、会津の伝統的な規範意識を踏まえて、「会津に育つすべての子どもが、このような子どもに育ってほしい」という想いを『あいづっこ宣言』として示しています。

物事の価値観は、理屈や理論だけで説明できないこともあります。いじめや暴力は、どんな理由があっても「ならぬこと」です。いつの時代でも、人間としてどのように生きていくべきかを、学校・家庭・社会が共通の価値観で子供たちを育てていくことが大切なのではないでしょうか。



2月の生活目標 自分の体を大切にしよう

自分が健康でいられることは、とても素晴らしいことです。だからこそ、自分の体をよく知り、大切にしてほしいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。マスクを正しく着用したり、手洗いをこまめにしたりして感染症対策をしっかり行い、温度に合わせて衣服の調節ができるようにしましょう。

このQRコードを読み込むと、一小のホームページが見られますので、御覧ください。

